

「考えよう 取り組もう～環境保全～」

本単元で育成する資質・能力

チャレンジする力

表現する力

協力・貢献する力

1 日時 令和3年12月15日(水) 3・4校時

2 学年 5年2組 23名(男子10名 女子13名)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、「坂町の環境保全の必要性についての理解を深め、課題解決に向けて学習を進めることを通して、自分たちもよりよい地域を創る一員であることを自覚し、地域の環境問題解決に向け、協力・貢献しようとする。」ことを目標に設定した単元である。

環境問題は世界規模で解決が急がれる課題の一つであり、環境教育の必要性も高まってきている。環境保全は、これからの社会について考え、よりよい未来を創っていく子どもたちにとって、欠かせない視点である。また、坂町においても身近なところに環境問題は潜んでいる。昨年度までに児童は、生活科や総合的な学習の時間において坂町の自然環境や伝統文化の良さを学んできた。坂町の環境問題に目を向けることで、良さだけでなく、課題もあることに気付かせ、「坂町の環境保全」という新たな視点で坂町を捉え直し、自分たちの住む坂町をさらに住みやすい町に変えていこうとする思いをもたせることができると思う。坂町の環境保全に向け学習を進めていくことで、課題をどのように解決していくかを考えるプロセスを身に付けるだけでなく、地域の課題を発見し、解決しようとする姿勢や、地域の一員として協力・貢献しようとする力を伸ばしていくことが期待できる単元であると考えます。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでの生活科や総合的な学習の時間などに坂町の良さを発見してきている。1学期の総合的な学習の時間に坂町のウェビングマップを作った際、自然につなげる児童はとて多く、横浜地区の豊かな海や山などの自然こそが横浜地区の良さであると感じている児童も多い。また、令和3年度学習意識等調査での「自分の住んでいる地域のことが好きです。」の項目での肯定的な回答が91.5%であることから分かる通り、地域に愛着をもつ児童も多い。しかし、これまでの学習の中で、坂町や横浜地区が抱えている課題を発見し、その解決に向けて具体的に実行していくような学習はあまり経験してきていない。横浜地区や坂町の良さや伝統について学習を積み重ね、理解してきている児童だからこそ、改善していくべき課題と出会った際には、解決に向かっていこうとする気持ちを強くもつことができると考える。

授業においては、意欲的に学習に取り組む児童が多い。しかし、授業での学びを主体的に生活の中で生かそうとする児童は少ない。先に述べた学習意識等調査では、「授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。」という項目で、広島県の肯定的な回答が69.9%であるのに対し、横浜小学校5学年の肯定的な回答は59.6%であった。「授業では、解決しようとする課題について『なぜだろう』、『やってみよう』と思います。」という項目で肯定的な回答が80.9%ということから、多くの児童が授業の中で学習課題に対し、意欲的に考えを広げようとしているが、考えや提案を実践しようとする力や、それに向け協働する力、実際に取り組む力等、課題解決に向けて具体的に取り組む姿勢や力については、これからさらに身に付けていく必要がある。

(3) 指導観

指導に当たっては、地域の一員として行動しようとする態度を身に付けるために、国語科の学習と関連させ、「みんなが過ごしやすい坂町を創る」というゴールのイメージをもつことができるようにする。まず、社会科で漁業について学習した際、漁獲量の減少に環境悪化という原因があったことを想起し、坂町の環境悪化の現状について自分なりにイメージをもつようにする。そこから坂町の身近な海の写真や、広島県西部

の海ゴミのデータを分析し、地域が抱える課題を発見する。そして、見付けた課題の解決に向け、主体的に探究できるようにするために、次の6点に留意して学習を進めていく。

- ①授業ごとに「本時での学び」と「次の時間に向けて」という2つの視点から学びを振り返ることで、自分たちで見通しをもち、課題解決に向けた計画を立て、学習を進めていくことができるようにする。
- ②地域の写真や広島県西部のデータ、生活経験等、自分たちの身の回りから課題を設定することで、環境に関する課題を地域・自分のものとして捉え、みんなが過ごしやすい坂町を創るというゴールに向けて意識を継続することができるようにする。
- ③坂町環境基本計画を用いて情報収集を行うことで、坂町の環境についての現状や取組について知り、規模の大きな環境問題という課題を、坂町の課題として捉え直すことができるようにする。
- ④グループで探究活動に取り組む機会を設定し、友だちと協力して活動することを通して、自他の良さや協働の良さに気付くことができるようにする。
- ⑤課題解決に向けた取組を考える際は、「自分にできる」という視点を大切にし、自分が主体となり行動しようという意識をもつことができるようにする。
- ⑥この単元での学びを身近な人に伝える活動を設けることで、自分たちの学びや成長を自覚し、よりよい地域社会を創るために考えたり、行動しようとしたことを肯定的に捉えることができるようにする。

4 坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿

チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見付け、取り組もうとしている。 ・粘り強くやり切ろうとしている。
◎表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを、目的や相手、場面に応じて、工夫しながら伝えることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【行動力】 【感謝】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域の中での役割を考え、皆と協力して行動している。 ・感謝の気持ちを相手に伝わるように表現している。

5 単元の目標

坂町の環境保全の必要性についての理解を深め、課題解決に向けて学習を進めることを通して、自分たちもよりよい地域を創る一員であることを自覚し、地域の環境問題解決に向け、協力・貢献しようとする。

6 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○環境問題について理解し、環境保全の必要性について理解している。 ○環境保全に向けた探究活動を通して、課題解決に必要な技能を身に付けている。 ○環境問題という課題が坂町とも結びついており、自分たちが課題解決に向けて学習を進めることで、より住みよい坂町を創るこ 	<ul style="list-style-type: none"> ○データや自分たちの生活経験を通して課題を設定している。 ○目的を明確にして、目的に合った手段を考え、必要な情報を収集している。 ○集めた情報を共通点・差異点などに着目し、それをもとに分析している。 ○目的や相手、場面に応じて効果的な方法を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題と関わる中で自分の立場や考え方を大切にするとともに、他者の立場や考え方を理解し、尊重しようとする。 ○主体的に課題と関わり、進んで課題解決に取り組もうとするとともに、友だちと協力して課題解決に取り組もうとする。 ○地域社会の一員であることを自覚し、よりよい地域社

	とができると気付いている。		会への希望をもち、自分事として課題の解決に取り組もうとする。
--	---------------	--	--------------------------------

7 他教科等との関連

国語科	社会科	家庭科	道徳
「みんなが過ごしやすい町へ」	「私たちの生活と環境」	「物を生かして住みやすく」 「持続可能な暮らしへ物やお金の使い方」	「一ふみ十年」 「イルカの海を守ろう」

8 指導と評価の計画（全 35 時間 本時 25～26／35 時間）

探究の過程	時間	主な学習内容	評価規準及び評価方法
情報収集 整理・分析 課題発見	6	<ul style="list-style-type: none"> ○「広島県海岸漂着物実態調査報告書」の中のデータや海の写真などから地域の現状を知り、坂町が環境問題という課題を抱えていることを発見する。 ・社会科の授業で、主に海を取り巻く環境の悪化によって、漁獲量が減少していると学習したことを想起し、海が豊かな坂町にも環境悪化があるのかを予想する。 ・坂町の海の様子からゴミが多くあることや海が汚れていることに気付く。 ・広島県西部の海ゴミについてのデータと坂町の海の様子を結び付け、環境問題は坂町が抱えている課題であることを発見する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やグラフを読み取り、それをもとに、課題を発見している。（ノート、活動の様子）
課題設定		<ul style="list-style-type: none"> ○本単元における課題を設定し、学習計画を立てる。 ・国語科の「みんなが過ごしやすい町へ」の学習と関連付け、捉えた課題をもとに、「みんながより過ごしやすい坂町」にするというゴールを設定する。 ・ゴールに向かって取り組むべき課題の一つとして環境問題を捉え、課題設定を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>考えよう 取り組もう～みんなが過ごしやすい町へ・環境保全～</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○発見した課題をもとに、過ごしやすい町にするために、環境問題を解決していく必要があることを理解している。（ノート・発言）
情報収集 整理・分析 課題設定		<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画を立てながら、次の課題を設定する。 ・海ゴミの他に環境を取り巻く問題について知っていることや、もっているイメージをウェビングマップで広げる。 ・それぞれがもつ知識やイメージを交流し、それらが実際に課題として存在するかを確かめる中で、自分たちが知らないことが多くあることに気づき、情報収集をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のもつイメージや知識をつなげ、友だちと進んで交流するとともに、課題を解決していこうとする思いを高めている。（振り返り・活動の様子）

		<p>ることに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>環境問題について情報収集を行い、くわしく知ろう。</p> </div>	
<p>情報収集 整理・分析 課題設定</p>	10	<p>○環境問題にはどのようなものがあるかを調べ、集めた情報を整理し、自分が特に追究していきたい環境問題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題としてどのような問題が挙げられているのかを広く調べ、環境問題の種類や内容についてなど、大まかな概要をつかむ。 ・集めた情報を整理し、地球温暖化やゴミ問題など、大まかなグループに分ける。 	<p>○環境問題について広く調べるといった目的を理解し、目的に合った資料を活用して情報収集を行っている。(ノート、活動の様子)</p> <p>○環境問題の概要について理解を深めている。(ノート、活動の様子)</p>
<p>情報収集</p>		<p>○自分が追究していきたい環境問題について情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分類した項目から、自分が特に調べようと決めた環境問題について、原因や現状などのくわしい情報を集める。 	<p>○自分が興味のある環境問題(課題)を選び、必要な情報を選んで収集している。(ノート、活動の様子)</p>
<p>整理・分析</p>		<p>○グループで整理・分析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集をして集まった情報を内容ごとに分類し、「原因」「現状・問題点」「このまま進むとどうなるか」「すでにある取組」という視点で大まかに情報を分類できることに気付く。 ・同じ問題を調べた児童同士でグループを組み、視点に沿って情報を整理・分析していく中で、自分が調べなかった情報にも出会い、さらに幅広く環境問題についての理解を深める。 ・相手に伝わりやすいように、発表内容や発表方法を考え、準備を進める。 	<p>○グループで情報を持ち寄り、共通点や差異点に着目して、集まった情報を整理・分析している。(ノート、活動の様子、成果物)</p> <p>○自分の考えを進んで友だちに伝えるとともに、友だちの考えを受け入れながらグループワークを進めている。(行動の様子、振り返り)</p>
<p>まとめ・表現</p>		<p>○調べたことをまとめ、中間発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間発表を通して、他のグループが調べたことについても知り、自分が調べたことと比べることで、問題同士の共通点やつながりなど、広い視野からさらに理解や考えを深める。 	<p>○より分かりやすく他のグループに伝えるために、グループで話し合い、発表内容を工夫している。(活動の様子、成果物)</p>
<p>振り返り</p>		<p>○中間発表について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと交流してさらに学んだことや、他のグループとの交流を通して、新たに分かったことなど、自分の学びを振り返る。 ・中間発表までの学びをもとに、次からの学習 	<p>○自分の取組や学びを客観的に振り返り、この先の学習につなげていこうとしている。(振り返り)</p>

		活動として取り組むべきことを考える。	
情報収集 整理・分析	7	<p>○「みんなが過ごしやすい町へ」というゴールを再確認し、坂町・広島県の環境保全に向けて「坂町環境基本計画」を使って情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球規模としての環境問題から、地域に焦点を当て、より身近なものとして課題を再認識する。 ・坂町や広島県の現状について情報を集める中で情報収集の難しさを感じることで、情報収集の幅を広げ、坂町の資料である「坂町環境基本計画」を使って情報収集を行う。 ・坂町・広島県の調査結果として情報を視点ごとに整理・分析し、自分たちに関わりのある課題として環境問題を捉え、「みんなが過ごしやすい町」にしていく必要があることを実感する。 <p>○情報収集をもとに、小単元の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から、坂町にも環境問題があることや、そのために取組がされていることを知り、それをもとに課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「みんなが過ごしやすい坂町」に向け、自分たちにできることを考え、取り組もう！</p> </div>	<p>○地球規模として捉えていた課題を、坂町にも実際にある課題として、自分事に落とし込んで捉えている。（振り返り、発言）</p> <p>○どのような手段で情報を集めれば、自分の得たい情報が得られるかを考え、必要な情報を集めている。（ノート、活動の様子）</p> <p>○情報収集の視点を明確にし、坂町の環境問題や環境保全についての理解を深めている。（ノート、振り返り）</p> <p>○坂町の環境問題や環境保全について、解決の必要性を理解して課題を設定している。（発言、振り返り）</p>
課題設定			
整理・分析 情報収集	6	<p>○環境保全に向けて、自分にできることを行うために、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に向け、環境問題の原因を振り返り、自分たちの生活とのつながりを考える。 	<p>○自分たちの生活との結びつきや何ができるかを進んで考えることができる。（ノート、活動の様子）</p>
本時		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活とのつながりから、実践できることについてイメージを膨らませ、考える。 ・既にある取り組みを調べ、実際に実行することができるようにするために、自分にできることを選ぶ。 <p>○実行に向けて集めた情報の整理・分析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報と自分が考えたことを「自分だけでできる」ことと「家族に協力してもらおうとできそう」なことに分ける。 	<p>○「自分にもできる」という視点に沿って、視点に合う情報を取捨選択しながら収集している。（ノート、活動の様子）</p> <p>○情報の整理・分析を行い、何が自分にできるかをより明確にしている。（ノート、発言）</p>
整理・分析			

<p>実行</p> <p>振り返り</p>		<p>○環境保全に向けて、自分たちにできることに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でもできる環境保全の取り組みとして可能な限り実践していく。 ・実践したことを分析し、次の実践や友だちとの交流につなげる。 <p>○それぞれが家庭で取り組んだ実践を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の実践を友だちと交流し、自分が実践しなかった取組や具体的な取り組み方を知り、実行の幅を広げる。 ・難しかった点についても交流し、協力してどうすればできるかを教え合う。 	<p>○自分にもできる環境保全を一つでも実践しようとして進んで取り組んでいる。(報告書、生活の様子)</p> <p>○友だちと進んで交流し、友だちの実践から学んだり、友だちと教え合ったりしている。(活動の様子、振り返り)</p>
<p>課題設定</p> <p>整理・分析 まとめ・表現</p> <p>振り返り</p>	<p>6</p>	<p>○「みんなが過ごしやすい坂町」を創っていくために、この実践を生かし、さらにできることを考え、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけではなく、地域に住むより多くの人に自分たちの学びや実践を報告し、現状を知ってもらうことで、「みんなが過ごしやすい町」に近づくことに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「みんなが過ごしやすい坂町」に向け、さらに自分たちにできることを考え、取り組もう！</p> </div> <p>○これまでの自分たちの学びや取り組んだ実践などを他者に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学びを整理し、何を伝えるべきかを明確にする。また、より効果的な伝え方についても考え、計画を立てる。 ・発表に向け、準備を進め、さらに過ごしやすい町にしていくために、身近な人にこれまでの学びを伝える。 <p>○単元を通しての成長を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この単元を通して、できるようになったことや自分の考えの変化などを振り返り、自分の成長を自覚する。 	<p>○自分たちの実践を他者に伝えることが、よりよい地域を創っていくことにつながると気付き、課題を設定している。(振り返り)</p> <p>○ここまでの学びを身近な人に分かりやすく伝えられるよう、工夫して発表している。(活動の様子、成果物)</p> <p>○単元全体を振り返り、自分の良さや成長に気付いている。(振り返りの内容)</p> <p>○成長について友だちと伝え合い、お互いの成長を肯定的に認め合っている。(振り返り)</p>

9 ルーブリック（評価基準）

	評価基準
Ⅲ	自分の生活が環境保全につながることに気付き、地域社会を担う一員であることを自覚し、よりよい地域社会を創るために進んで行動しようとする。
Ⅱ	自分の生活が環境保全につながることや、よりよい地域社会を創るために自分にもできることに気付き、何ができるかを考え、行動しようとする。
Ⅰ	自分の生活が環境保全につながることや、よりよい地域社会を創るために自分にもできることに気付き、何ができるかを考える。

10 本時の学習

(1) 本時の目標

- 自分の生活と環境問題のつながりを基に、自分にできることを進んで考えている。
- 「自分にもできる」という視点を理解して情報収集を行い、集まった情報を整理・分析することで、自分にもできる環境保全の方法を見付けている。

(2) 本時の展開（本時 25～26／35）

	学習活動	指導上の留意事項	資質・能力 (評価方法)
導入	<p>1. それぞれの環境問題（生き物・温暖化・汚染・ゴミ）の原因と自分の生活のつながりについて振り返る。</p> <p>2. みんなが過ごしやすい坂町を創るというゴールを再確認し、本時の学習計画を立てる。</p>	<p>○自分の生活と環境問題が結びついていたことを振り返ることで、自分事として課題を考えられるようにする。</p> <p>○ゴールを再確認することで、前時を踏まえて、本時で何をするのかを児童が主体的に考えられるようにする。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて：環境問題と自分の生活とのつながりをもとに、環境保全に向けて、自分にもできる取組を探そう。</p> </div>			

<p>展 開</p>	<p>5. 自分にもできる取組を考える。</p> <p>6. 自分にできる取組について情報収集をする。</p> <p>7. 集めた情報を「自分だけですぐできる取組」と「家族と協力してできる取組」の視点で整理する。</p>	<p>○生活とのつながりを意識させることで、日常生活と結び付いた具体的な取組を考えることができるようにする。</p> <p>○友だちと考えたことを共有し、自分が思い付かなかった取組を知ること、できることが他にもありそうだという思いをもつことができるようにする。</p> <p>○「自分にもできる」という視点で解決に向けた取組を考えたり、探したりすることで、より主体的に課題解決に向けた取組ができるようにする。</p> <p>○自分で考え付くこと以外にも情報を収集することで、思い付かなかった取組にも目を向け、実践の幅を広げることができるようにする。</p> <p>○2つの視点で整理・分析をすることで、取組の具体的なイメージをもつことができるようにする。</p> <p>○整理することで、すぐに取り組むことができる取組があることに気づき、行動に移しやすいようにする。</p>	<p>○自分たちの生活と環境問題を結び付け、環境問題を自分事として捉え、自分にできることを進んで考えている。 (ノート、活動の様子)</p> <p>○「自分にもできる」という視点に沿って、視点に合う情報を取捨選択しながら収集している。 (ノート、活動の様子)</p> <p>○情報の整理・分析を通して自分に何ができるかをより明確にしている。(ノート、活動の様子)</p>
<p>まとめ</p>	<p>8. 自分の考えや集めた情報を交流する。</p> <p>9. 本時の学びと次回の学習に向けての視点で振り返る。</p>	<p>○友だちと交流することで、他の実践に気付いたり、自分の情報・考えを客観的に捉えたりすることができるようにする。</p>	

(3) 板書計画

考えよう 取り組もう～みんなが過ごしやすい町へ～環境保全

12/15
(水)

① 環境問題と自分の生活とのつながりから、環境保全に向けて、自分にもできる取り組みを探そう。

生活とのつながり

自分にできること

温暖化・生き物	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ゲーム ・エアコン、車 ・テレビなどの家電製品
汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、お風呂 ・手洗い、飲み残し
ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ残し ・プラスチック ・生ゴミ

	<地球温暖化・生き物>	<汚染>	<ゴミ>
考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・近くは自転車を使う。 ・ゲームやテレビの時間を減らす。 ・電気をこまめに消す。 ・エアコンは本当に寒い時や本当に暑い時だけつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み残しをしない。 ・食べ残しをしない。 ・シャンプーを使いすぎない。 ・水を出しすぎない。 ・石けんは必要な量だけ出す。 ・洗剤を使いすぎない。 ・必要な量だけ食材を買うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ残しをしない。 ・マイバックを使う。 ・ポイ捨てをしない。 ・こわれたら修理する。 ・プラスチックの物をなるべく買ったり使ったりしないようにする。 ・いらぬものは買わない。
調べたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・冬はだんぼうを20度に設定する。 ・使わない家電のコンセントはプラグごと抜く。 ・電球を買うときはLEDのものを選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水のむだづかいをしない。 ・使う食器を減らす。 ・トイレットペーパーを使いすぎない。 ・水道の水やシャワーの水はこまめにとめる。 ・トイレの水は基本的には「小」で流す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイはしを使う ・マイボトルを使い、紙パックを選ぶ。 ・つめかえ商品を選んで買う。 ・エコッキングで、野菜などを捨てる量を減らす。